

## 第10回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

1	開催日時	令和6年3月25日(月)
2	開催場所	磐田市役所西庁舎3階 302~303会議室
3	出席者(向陽学府小中一体校開校準備委員)	
	学識経験者	元校長 前向笠地区長
	地区代表	大藤地区長 向笠地区長 岩田地区長
	保護者代表	向陽中学校PTA代表 大藤小学校PTA代表 向笠小学校PTA代表 岩田小学校PTA代表 大藤こども園PTA代表 向笠幼稚園PTA代表
	学校代表	向陽中学校長 大藤小学校長 向笠小学校長 岩田小学校長
4	出席職員	教育長 教育総務課長
5	事務局	学府一体校推進室

### 会議概要

#### 1 教育長挨拶

早いもので今年度最後の準備委員会となりました。本当に1年間、それぞれの立場でありありがとうございました。

先日、小・中学校の卒業式がありました。いわゆる感染症法上の位置付けが5類になって初めての卒業式ということで、コロナ禍前と同じような形での卒業式が開催できたのかなと思います。自分自身も、小学校・中学校それぞれ参加をさせていただきました。マスクもみんな外して、本当に明るい表情でというか、自信を持って卒業していく姿、いろいろメッセージとか、歌声だとか、一挙手一投足だとか見させていただくと、やり遂げたっていう思いだとか、皆と共にいろんなことを乗り越えてきたというような、そんな言葉も印象に残っております。本当に学校生活の中、コロナ禍の中では、なかなか人と人とのつながりが断絶してしまったという状況が続きましたが、やはり子供たち、いろいろつながりの中で学んでいるものが大きいなど。そこが一つの、例えば磐田の教育大綱でいうと、「誇り」になったりだとか、「こころざし」になったりだとか、「感謝」の気持ちになった

りだとか、本当につながりって大事だなということを感じたっていうところと、そういった子供たちの成長、育ちを保障していくとか、子供たちのための学校がどうあるべきなのかなというところを改めて感じたところです。また、先生方をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様方には本当にありがたいなというところで、感謝の気持ちもすごく感じました。本当にありがとうございました。

向陽学府のほうに目を向けてみますと、磐田市議会2月定例会の中で、校名について、皆様方のおかげで、学校設置条例のほうも無事可決というところで、正式に「向陽小学校」という形で決まりました。また詳細についてはこの後、事務局から話があると思います。やはり、この場で、それぞれの立場から御意見を頂いたこと、それから地域の皆様方とか子供たちも含めて、意向というか、アンケートをとって進めていただいた。本当に丁寧に進めていただいたということで、議員の皆様からも御理解頂けたのかなと思います。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。あとは、令和8年4月の開校に向けて、残り2年という形になりました。工事のほうも順調に今進んでおります。あとはソフトの部分というか、今、学校のほうでもカリキュラム等いろいろ検討していただいていますし、今、保護者や地域の皆様方から御意見頂いてるのは、やはり登校というか通学の件。あと、プールの件も御意見頂いておりますけども、そんなところも御心配というか、御不安を少しでも軽減できるように、また、地域の皆様、保護者の皆様方と対話を通しながら、令和8年4月を迎えたいと思います。またいろいろお気づきの点がありましたら、ぜひお聞かせ頂ければありがたいと思います。それから、年度変わりになります。今日で準備委員会の委員を降りられる方もいらっしゃると思います。本当に向陽学府一体校のより良い出発に向けて、それぞれの立場から御尽力頂きましたこと、本当にありがとうございました。

もう1点、今まで教育総務課の中に、学府一体校推進室という形で、今まで組織として位置づけられたのが、4月からは、新たに学校づくり整備課という課が設置され、その中に、学府一体校グループという形で、4月からスタートする形になりますので、その辺りも変更がありますので、あわせて御承知おきください。今日もまたいろいろ協議内容がありますけど、ぜひよろしく願います。

## 2 議事

(委員長)

皆さんこんにちは。多分この中で半分以上の方が、新しいメンバーと来年度変わるじゃないかなと思うんですが、ぜひ、いい意見を出していただいて、今年度締めをしたいと思っておりますので、よろしく願います。

それでは、新しい小学校名の進捗状況について、事務局から願います。

(事務局)

新しい小学校名の進捗状況について説明をいたします。

新しい小学校名は「磐田市立向陽小学校」ということで正式に決まりましたが、その前

段階で、どのような過程でというところを、簡単に説明したいと思います。2月1日に定例教育委員会に、磐田市立学校設置条例の改正についての議案を上げました。教育委員の皆様からは、特に意見や質問もなく、承認をされました。その後、2月定例市議会に、磐田市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について議案を上程しました。本会議では質疑はなく、3月22日の本会議で議決をしました。これで新しい小学校の校名は正式に磐田市立向陽小学校となります。ただし、施行年月日は令和8年4月1日となります。こうなったことでのメリットとしては、今、話し合いをしている、校章とか校歌を大変進めやすくなったということと、今後、この新しい小学校についての予算を市のほうに上げて行くときに、この校名で上げていくことができるかなということがあります。

(委員長)

今の説明に、御質問、御意見等あれば出していただきたいと思います。

特にないようですので、次に移りたいと思います。校歌・校章の作成について、事務局説明をお願いします。

(事務局)

校歌・校章の今後の進め方については、前回に引き続いての協議事項となります。

今回の準備委員会で、この開校準備委員会としての考えを決定していただきたいと考えています。校章につきましては、来年度の早いうちにデザイン決めに取りかからないと、日程的に大変厳しいかなと思っています。資料1を見ながら聞いていただければと思います。まず、校章のほうですけども、この校章をどのようにして進めていくか、進め方について、今回決めていただくと、4月以降大変進めやすくなるかと思っています。事務局としては、②の校章作成について、事務局案を二つ提示してあります。これは前回の資料と同じものになります。案のアは公募です。対象は向陽地区または向陽中学生などに限定をします。公募案について、小中学生による投票を行うというものです。その右側の案イですけども、向陽中学生による作成です。向陽中で校章案を作成したい生徒を募ります。その後のやり方については、生徒たちと話し合いにもよりますが、一人一人作成して選考する案とか、募った生徒たちと共に話をしながら一つのものを作り上げるなどの案を提示してあります。その募集方法についての御意見を伺いたいというふうに思います。続いて、校歌についてですけども、これまでに話し合いの中で、9年間向陽中の校歌を歌うということが進められてきましたが、それで決定してよいかということをお話し合っていたきたいと思います。一部変更したほうが良いという意見もありますので、変更するに当たり、課題となることはないか、協議をお願いします。資料1の裏になりますが、向陽中の校歌の歌詞と、あと作詞作曲のこと、著作権のことを載せさせていただきました。作詞作曲の著作権につきましては、作詞については2024年で作詞者の尾崎楠馬さんが没後70年となりますので、著作権がフリーになると思います。作曲については、中山さんの情報が手元にはありませんでしたので、修正が必要な場合は今後調査が必要かと思っています。ただ前提としては、9年間を向陽中の校歌でいくというものがあるものですから、もし変える必要が

ある場合はこういった著作権のことも考えていかなければいけないということになります。

(委員長)

今後の進め方ですが、校歌・校章、二つあります。事務局の今の説明に対して、質問とか、お考えがありましたら出していただきたいと思います。

確認ですけれども、校歌・校章と言っていますが、一体校の校歌であり、一体校の校章である。それは当然、向陽中学の校歌でもあり、小学校の校歌にもなるってようなそんな感じだね。校歌について、歌詞が今の時代に合わないという、その辺のところにつきましては、以前言ったような気がするのですが、言葉だけで考えてみると、3番の、一、二行目のところ、もうちょっと分かりやすく言うと、「見上げると朱く彩られた屋根が見える」ここに屋根とは書いてませんが、「赤い夕日の光が校舎を一層美しく照らしている」この辺は今の向陽中学校のことからずれてますよね。実は私や向笠地区長さんが、中学に通っていた頃、この一・二行が合ってたんですよ。木造校舎の屋根が赤い瓦の屋根で、まさしくこのとおりだった。今は新しい校舎になってその面影はありませんが。

(委員)

それでも、今もその校歌を歌っているから、そのままいいんじゃないかな。

(委員長)

実は向陽中学、私が中学のときにジャージというのがあって、これ朱色だったんですよ。それがどういうわけか、平成4・5年の頃に、校内服っていうかジャージを変えるときに、一気に水色っていうか空色になっちゃった。いわゆるその辺のところから朱色というイメージが、向陽中学校から消えたんじゃないかなという、そんな記憶を私は持っています。

(委員)

向陽中は、歴史的には76年。その場、その時に、いろんなものを合わせるっていうのが全てか、あるいは伝統っていうか、そういうものからずっと、気持ちも心も変わっていくんでしょうが、受け継いでいくっていうことから言うと、精神はここら辺に残っていて、それを受け継いでいくということでもいいんじゃないかなあとこういうふうに思っています。もし、今の造られる校舎、何かそういうものが1か所でも装飾的に、ちょっと面影を作るんだったら、建築のほうで出来るかどうか分かりませんが、そんなことかなって思っています。ですから、今の校歌でいいんじゃないかなと思っています。皆さんもそのようなことで来たんじゃないかなというふうに思っています。

(委員)

校歌でいうと1番が紫で、2番が緑で、3番が赤っていうことでできていると委員長からお聞きして、この前、卒業式でも校歌を歌ってくれて、歌っているのを聞いている分には気にならないが、文字に起こすと、確かにちょっと校舎と違和感があるんですけど、自分自身、中学校の校歌っていうならこの校歌。うちの嫁さんをはじめ子供らもまだ覚えていたような気がしますので、伝統やら何やら次の代にとするならば、自分は校歌は

これかなっていうふうに自分自身は思っています。

校章のほうは、事務局案が出ていますので、例えば自分が、前の学校のとときに、イメージキャラクターみたいのを募集したときは、子供らに考えてもらって、小学校も考えてもらったんだけど、小学校はどうしても保護者が意見をかなり出して、中学生は中学生として自分らで考え、それを学校運営協議会か何かで、それぞれ三つぐらいに絞って、学校協議会で決定したという感じだったと思うので、もしあれなら、この場に案を三つぐらい出してもらって、小・中なのか中だけなのか。それをこの中でっていうのもありかなと自分は思っています。

(委員長)

今ある校歌の一部を、今に合わないので、別の言葉に置き換えるっていうのは何か不自然なような気もするんです。これを作った当初のいろんな思いというか、70年余り、ずっと続けられたことが、何かちょっと、そういう意味合いからすると、変な感じがする。だったら、そのままでいいじゃないか。確かに名残というか、痕跡というか、そういうものがないわけですが、あったほうがいいねっていうことなら、例えば今新しい校舎を造ってる最中ですので、それらしい何か、どっかに色をつけるとか、あるいは学校が外に示すような印刷物とかに、それらしいものを、ちょっとアクセントじゃないが。でも今まで、何もなくてもそのまま続けてきた、木造校舎を潰してから、新しい校舎にした間は、無くてもこのまま校歌として歌ってきてますので、このままでもいいかなという感じを持つのですが、どうですか。

(委員)

校歌については、僕も同じ意見で、このままでいいかなと思います。もし時代に合わないから変えるっていうのは、差別的な言葉が入っているから変えるということなら分かるのですが、伝統とか、屋根が昔は朱色だったとか、聞いている僕らからすれば、子供たちにそれを教える時には、伝統を伝えることが小話の一つになるんじゃないかな。

校章については、子供たちに作ってもらって、ここで案を見て決めるっていう方が僕もいいかなって思っています。今通ってて、新しくなった校舎に通えない子たちが、校章を僕たちが作ったんだよっていうのが、また思い出になるのでいいのではと思います。

(委員長)

それでは、向陽中の校歌をこのまま一体校の校歌としていくことで、よろしいですか。

(その他意見なし)

校章については、子供たちをちょっと前面に出して考えさせたいなというような御意見をお伺いしましたけれども、いかがなものでしょうか。今ある向陽中の校章を念頭に置きながらデザインを考えるということで。どの程度念頭に置くかというのは、人によって様々だなと思うんですけど。

(委員)

事務局案のイに賛成なんですけど、中学生にデザインしてもらって、その中から良いの

を選ぶということ。なぜかという、校歌もそうですけど、この前の卒業式で、最後に、自分たちで作った歌を合唱してくれて、それ聞いたときに、もう涙が出るぐらい。先生の指導がいいんでしょうけど、声もすばらしい曲もすばらしいし、合唱そのものもすごくよかったです。感激したんで、あんまり中学生をあなどっちゃいかんなどつくづく感じたんです。だから、デザイン面でも子供たちのフレッシュな頭で考えさせて、その中からの良いのを決めるほうがね、広範囲で募集してクシャクシャになるより、私の案としては、事務局のイの案に賛成です。

(委員)

私も今の意見に賛成です。この前の卒業式に出させていただきました。感激しましたし、ぜひ、今の中学生に出してもらおう。これからの中学生なのか今の中学生なのか、お願いしたらどうかな。向陽地区まで広げると、また募集が大変なのかなと思いますので、今の中学生の子供たちの意見を尊重したいなと思います。

(委員長)

令和6年度に校章の決定をするということは、中学生に考えていただくということ、来年度の1年生から3年生ということになりますよね。2・3年生は、卒業後に新しい学校ができるってことになるのですが。それはそれとして、地域とか地区とか、広く募るよりは、今いる中学生の柔軟な若い感性を、校章という形に期待をするというような御意見を頂いたんですが、その他の方どうですか。

(委員)

中学に今いる方で、デザインを決めるっていう話だったんですけど、ちょっと聞きたいのですが、もともとある校章を、反映させるようなデザインを求めるのか。それとも本当にこれ抜きで、生徒の人にデザインを決めてもらうか、どうなのか、それとも全く白紙なのか、そこを知りたいです。僕はもともと中学の中をとっちゃえばいいという考えだったんですが、皆さんの意見を聞くと、生徒に、デザインを頼むというのであれば、あえてこういう形、こういうのをに入れてとかと言うより、もうゼロから作らせてもいいのかなというふうに思いました。

(委員長)

一体校の校章につきましては、向陽中学というものはそのままつながってきているということもあるし、これまでの会合からすると、今の向陽中学の校章を少し一体校用に修正するという、まるっきりゼロからデザインを募るのではなく、今の向陽中学の校章を基に、一体校の校章をデザイン化する。どの程度、今の校章を基にするかがちょっと難しい。募って果たしてどういうものが出てくるか、まだ見えないところはいっぱいある。

(委員)

校章、生徒にという事務局案のイでいいと思うんですけど、今、思い描いているのが、生徒から出てくるのは、アルファベットで来るだろうなっていうところで、この旧字体の「学」は、取れる可能性が高い。子供たちに募集したときに「KOYO」だから、それを

組合せた今どきの斬新なものが出てくるのではと、ちょっと思い描いていたんですけども。これから離れていく可能性があるかななんて、ちょっと今、私は考えてました。子供たちが主体的に考えてとなると、そういったことも想定しておいたほうがいいじゃないかなというのが1点。それからもう1点が、昨年度かその前、校章とかではなく、市の何かのモニュメントを決めると言ったときに、三択ぐらいになっていて、高学年が該当だったんです。中学生と6年生か5年生ぐらいが該当だった。それで、意見が多かったところで決まっていった。ゼロからで考えてって言ったら、さっき言ったような、とても斬新なものが出てくのではないかな。それはそれで面白いと思うんですけど、斬新なものが出てくるといことも想定しておいたほうがいいんじゃないかなと思いました。

(委員長)

なんかいろいろ考えていくと、校歌は修正しないほうがいいということなんですが、校章は参考にしながらも修正する。何かちょっと話が、筋が通らない部分も1部あるような気がしないでもないんですが。

(委員)

前回までのお話の中だと、校歌はいつでも変えられるっていう感じですよ。だから、校歌は、現状、このまましばらく使っていく。それで子供たちの反応を見るっていうのも一つの手かなと。ただ、校章については、いろんな意味で膨大な予算が掛かると思うんですよ。だから、安易に作り変えることはできないので、タイムラグももちろんありますけど、慎重にやっついていかないといけない。例えば校旗ですか、それから、緞帳もどうなるか知らないけどいろんなもの、全てのものに引かかってくるんですよ。教育委員会のほうでどのくらいの予算が掛かるか、多分、分かっているかと思うんですけども、今までの経緯、過去の流れからすると、物価とか上昇の関係で、予算的には従来の倍ぐらいはかかるのではないかな。だから、校歌は、今までのものをしばらく共用する。校章についてはしっかりと生徒さんの意見を聞きながら、しっかりしたものをつくったほうが私はいいかかなと思っています。

(委員長)

どうですか。校章、まず中学生に考えていただくという、この辺についてはいいですか。小学生まで広げるとか、地域にまでっていうのはなくていいですか。(意見無し)

それでは、今課題になっているのは、今言われたとおりだと思いますね。予算が決まると、必要なお金が出てきますので。中学校の校章を、私さっき念頭に置きながらというか、参考にしながら、一体校の校章を考えると行ったが、ひよっとすると、参考にはしたものの実際、全然違うのが出てくる可能性もあるんですね。あるいはこれを少しもじってね、少しく小修整したもの、それもあってもいいじゃないかな。土台、デザインというか、頭の中を無理やり規制するっていうのは、あんまりいいことじゃないものですから。子供たちの発想がどう出てくるかっていうのも。ただ、今、向陽中学の校章が顕然と今あるから参考に、あることを念頭に置きながら、校章を考える。言葉尻というか、言い方は難し

いんですが。

(委員)

決定ではないんで、いろんなアイデアを出してチャレンジしてもらっていいじゃないですかね。何が出てくるか、おっかなびっくりするような感じじゃなくて、大いに出してもらって、その中で皆さんで決定していくので。参考にしてくれますよ。これだけのものを出していけば。

(委員長)

向陽中学校の当初は、向陽中学校の校章って、普通丸っぽいのが多い中に、非常に変わったデザインのもので、何か無くしちゃうのももったいないな、なんていうこともあってね。こういうのをちょっと生かせないかなという雰囲気が当初あったんですが。ただ子供たちがいろいろそのデザインを考えると、それが余りにも縛りになってしまうと、発想というか、イメージが中途半端になってしまうとか。思い切ってガラッと変えるようなことも出てくるということも、想定をするようなこちらの心構えで、思い切って子供たちに考えてもらう。ある意味自由度が大きいし、必要以上に中学の校章にこだわり過ぎない。こだわって作りたい子はそれでもいいし、いやもうせっかく新しい一体校ができるんだから、確かにこれはあるけど、こういうのがいいんじゃないのって思えばそれもいいんじゃないかな。以前からすると、ちょっと幅が広がったような、校章を子供たちに考えてもらう。何かそんな雰囲気なってきたような気がしますが、いかがですか。

(委員)

思い出はありますが、子供たちにゼロから作ってもらった方がいいんじゃないかなって。それこそ時代に合わせて作ってもらった方がいいんじゃないかなって思います。

(委員)

確認ですけど、中学校は中学校、小学校は小学校じゃないのね。もう小学校も中学校も同じ校章、一体校に一つだよ。要は校歌が一つなんで校章も一つ。それをちょっと確認したかった。いいんじゃないですか。これが今の形だよ。小学校から今の中学校までを一つの校章でデザインを考えてくださいということで。今の校章から大分離れても、それはそれで検討して決めればいいと思います。ただ、この校章で卒業した方々は、何か思い入れがありそうですが、新たになったからってということでお許し頂くということでもいいんじゃないですかね。今委員長が言ったように、今の校章はこうだと、これからは小学1年から9年生までずっと使う校章を、一応これを基に考えてくださいと言ったときに、どんな形になるかっていうことでね、やらせてみればいいんじゃないですか。

(委員)

すいません、ちょっと仕事上、今ある夜間中学「ふじのくに中学校」の校章を決めるときなんですが、全国に公募しました。当然、静岡県の小中学生、高校生からも全部募集して作ってきました。結果的にプロのデザイナーのデザインになりました。全部で500、600結構な数に来て、ざっとこう見ていく中で、残念ながら小中学生のものは、だんだん削れ

ていきました。何が言いたいかという、プロになってくるとそのいろいろなものに意味が込められてきます。「この羽は、何か飛躍をあらわしています」とか、「この形はやさしさを表現しています」とかというようなものが入ってくるんですね。それで、中学生がゼロから作るというのも一つ手かなとは思いますが、例えば向陽中の美術の先生にちょっとアドバイザーとして入ってもらったりしないと、なかなか難しいかなと思います。それからあと、子供たちのデザインをそのまま使うというのは、なかなか難しい。フリーハンドで書いてきたりするものをいかにこう微妙に丁寧に直すかっていうのは、やっぱり美術の先生とかアドバイザー的な人が必要になると思います。この資料にあるような、この三つの絵の中を基本に作っていきましょうというの、ある程度大崩れせず、これにどういう意味があるかっていうのは、そこまで自分は理解はしていないんですが、大崩れはしないのかなというふうには思っています。先ほどの意見のとおり、全くフリーにした時のところは、もちろん子供たちの可能性は信じたいのはもちろんなんですが、実際、経験したものからすると、最終選考までは行きましたが、20 ぐらいまで選ぶ中で一つ二つ、中学生や高校生のが入ってきたかなという、あとはプロとか大人の方が応募して来たものが残ってきた。意味なんかも含めて、こういう意味でこの形ができたんだというのを納得しながら、選んでいった覚えがあります。子供たちの可能性を信じて、まずやらせつつも、アドバイザーをきちんと用意するか、それか、ある程度部品を用意して、「この中から組合せてみない」とか、「アイデアない」というような呼びかけがあってもいいかなというふうに思いました。

(委員長)

向陽中の校章に、これはこういう意味があるのかなんとかそういうのはないよね。そういう説明がなかったですよ。

(委員)

なかったです。

(委員)

それはどなたが作られた。

(委員長)

今井の、今井地区の名前も分かっている。募集、地域募集、大藤と向笠と今井。

(委員)

一人一人デザイン募集してね、集めて、何十枚か出てきてどれにするじゃなくて。やっぱり、人が、子供たちが集まって、自分はこんな風にというのをだんだん持ち寄って、美術の先生かそういう得意な方も入ってもらって、もう1回検討してだんだん絞り上げて三つないし四つ選んでから選考をかけるような、やっぱり子供単独で作って書いたものを頂いて、ガラガラポンじゃちょっとお粗末だなという気がするもので、先生方に見てもらいながら、形を整えながら、候補者を作って最終選ぶというのはどうですかね。やり方は事務局に任せてもいいんですけど。

(委員長)

外に公募するということはどうもしない雰囲気ですね。とはいうものの、子供の考えた校章のデザインをそのままというところに、やはり、それなりの方のアドバイスが必要だという、そういうことですよ。それを誰にするかはともかくとして、そういうステップを踏んで、作ったほうがいい、そんなご意見だと。確かにそのとおりだと思いますよね。

(委員)

よく学校の運動会のプログラムなんかでもね、すばらしいデザインなんかあったりしますよね。そういうのを見ると、子供たちのアイデアを吸上げながら話し合っ、さらに作り上げていくと良くなるのかなと思います。

(委員長)

事務局にお聞きします。何となく中学生に考えさせて出来たものを、幾つか、いわゆる選定をしていく。選定して、これでいいねというのに、少しちゃんとした目を持っている方のアドバイスをもらいながら、形を作っていくという流れなんです、今日どの程度まで決めた方がいいのか、そこを確認したい。

(事務局)

今日はできれば、校章をどうやって選定していくというか、作っていくという進め方の基本的なところを決定していただければ、あとは事務局のほうでまとめていきたいなと思ってます。ただ、今のお話を聞いてると、事務局案のイの上のほうの、向陽中生徒による作成の、向陽中で校章案を作成したい生徒を募るの黒ポツが二つあるんですが、その二つを混ぜたような感じかなと思うんです。生徒たちの意見を聞きながら一つのものを作り上げると書きましたけども、一つの物というよりも、生徒が応募してきたものについて、いいものを幾つか選びながら、幾つかについて、修正をして、校章案を幾つか絞り出していく。さらにそこから、例えば開校準備委員会の皆さんに提示して意見を聞いてさらにブラッシュアップしていくというような形でいけるかなと思います。自分としても、子供たちの意見を聞きながら進めることができれば一番いいかなと。やはり、こちらのほうで、これに当てはめてやりなさいっていうやり方だと、決していいものがないし、アイデアも出てこないと思うので、こういう方法もあるけども、全く真っ新たな状態で考えて、そこから一つの良いものを作り上げていくっていう方法でも、もちろんいいと思います。そういったことを集まった子供たち、来てくれた子供たちに説明をしながら、作り上げていくのがいいかなと思います。

(委員長)

中学生に公募をかけるんですが、当然、お家に帰って各家族にいろんな相談したり、当然そういうのはあってしかりで、学校で急に突然書かせてじゃないと思いますので、その辺のところは当然いいと思います。

実はこの準備委員会の次回が5月を予定しているんですね。そのときに、こうやって募集をかけるという事務局提案を提案するんですか。どうですか。その辺のスケジュール的

なこともちょっと教えてください。

(事務局)

スケジュールとしては、資料の2の②のほうにありますが、5月の開校準備委員会を待っていると、恐らくスケジュール的に難しいと思っていますので、4月の段階で、子供たちに公募を募って、校章作成委員会みたいなものを立ち上げたいと思うので、協力してくれる人を募集しますというようなものはやりたい。そこから5月の校章作成委員会のところで、その校章の進め方について、生徒たちから意見を聞きながら、アンケートとか、公募用紙とかっていうのを作って、募集したいというふうに思っています。5月の開校準備委員会を待っていると、遅れる可能性があるので、そこは事務局のほうに任せていただいて、その進め方の進捗については、開校準備委員会のほうでお話はできるというふうに考えています。目標は、このスケジュールを見ていただくと分かるんですが、7月には案の提示を皆さんのほうにさせていただいて、最終9月ぐらいには、そのデザイン、子供たちが作ったデザインについて、決定をしたいと。ちょうど来年度の予算を要求する関係で、どの程度のデザイン、日数と校章旗が、これぐらいのものがこれだけかかるというものが出てくると思っていますので、ある程度のデザインがないと、その業者さんも見積りが出せないかなと思っています。ただあまり、急いでやるのもという意見もあると思いますので、その辺は進捗を見てやりたいと思います。ただ、子供たちの校章案が決まり、開校準備委員会の皆さんの意見も聞いた後、最終決定していくと思うのですが、そのあと、デザインの業者さんをお願いをして、校章のデザイン化をやっていくということになります。プロの手に任せてデジタルで作っていくというような形になります。

(委員長)

それでは、もう何となく、このぐらい決めておけば、なんとか4月に移れそうですかね。そこが1番心配です。年度が変わるので、メンバーも変わるし…。

(事務局)

そうですね、メンバーも変わって新しい担当にもなるもんですから、この事務局案イをもとに、皆さんから頂いた意見を参考にして、4月以降進めていきたいと思っています。

(委員長)

ありがとうございます。校歌・校章の件では何となく次年度にいけそうですが、何かこう思っていることあればお聞きして、なければ次に行きたいと思います。(意見無し)

それでは、これまでの進捗状況とスケジュールについて、もう入ってますが、説明のほうを事務局お願いできますでしょうか。

(事務局)

それでは、A3の資料2の①、開校に向けてのスケジュール(案)について、まず、1番の開校準備委員会ですが、来年度も、年間6回の開催を予定しています。それから2番の校名につきましては、令和5年度の3月で議決がおりましたので、これで正式決定となりますので、校名については、今後、地域のほうに、開校準備だよりでお知らせをしてい

くということになります。それから、3番については今検討していますので、できれば6年度中に、校歌はそのままいいですし、校章については、令和6年度中に決定して、次のステップに行きたいというふうに考えています。4番です。通学路については、想定される新しい通学路について、道路河川課と情報を共有しました。学校からも、学校教育課を通じて安全点検の依頼をお願いしたいと思います。信号機設置等の規制要望については、5月までに警察署に提出をする予定です。5番です。PTAの組織については現在大藤小の教頭先生を中心に検討に入っていると伺っております。6番、式典行事に関することは、来年度、開校準備委員会のほうで、閉校式、それから開校式について、検討事項となっておりますので、御了承願います。それから、7番のスクールバスの運行計画については、現在想定される人数、必要なバス台数、地区について、業者と情報を共有しています。今後、乗降場所決定後、ルートと時刻について協議をしていきたいと考えています。大藤と向笠のバスの乗降場所については、ほとんどが自治会の公会堂となる見込みです。岩田地区につきましては、範囲も広いことから、現在、地区のほうで意見を伺ってもらっています。また新年度に入りましたら、岩田小のPTAの通学担当の皆さんからも、意見を伺う予定です。8番、制服体育衣料の検討については、現在制服は磐田地区校長会が制服のあり方について検討をしています。体育衣料については、学校が検討をしているところです。それから9番です。学校経営や学校運営については、開校に向けてやることリストを学校に配布をし、各校または学府で準備をしていきます。それから、10番については、来年度の開校準備委員会への検討事項となっております。その他の検討事項についてですが、駐車場については、一体校周辺に駐車場の整備を予定していきたいと考えていますが、どこをどれぐらい整備するのかは、財政とか、あと、土地所有者と協議をしていくこととなります。学校跡地につきましては、今年度、関係課と情報共有を2回行いました。避難所の関係や、市内の公共施設の管理の関係から、今後は、資産経営課が主体となって検討をしていくこととなります。大藤小のプールの使用に関しては、カリキュラムやバスでの移動について、あと学校の安全面について、学校が検討をして、令和6年度中には、計画を完成させる予定です。その他になりますが工事の関係です。いわゆる先行工事というもの今年度やらせていただいて、ほとんどの工事が終了をしています。合併浄化槽であるとか、ポンプ室の建築工事、それからテニスコートの整備、その西側にある駐車場の整備が終わっております。あと、解体工事を今現在進めているところですが、この解体工事を今年の7月までには終了して、また、議会の関係にもよりますが、議決を経て、本体工事のほうに取りかかる予定です。また工事をやるに当たりましては、地元の工事の説明会を開催させていただきたいと思いますので、また、地区長さんや自治会長さんに御連絡をすることになると思います。よろしくお願いたします。

資料2の②、令和6年度開校準備委員会のスケジュール(案)について、4月早々、校章の募集について、中学のほうに入らせていただきながら、進めていきたいというふうに考えています。5月の開校準備委員会についてはその校章の作成についての進捗状況の

報告、それから地域連携室、仮称福祉交流支援室の運用について、皆さんに御協議を頂きます。あと7月の開校準備委員会ですが、校章案の提示をして、5月と同様、地域連携室、福祉交流支援室の運用について考えていきます。9月については、校章の決定、あと学校での検討事項についての進捗の報告をさせていただきます。11月の開校準備委員会においては、閉校、開校行事についてであるとか、開校時の課題の共有、PTA、通学路についての進捗を御報告をさせていただきたいと思います。来年に入りまして1月ですけども、制服、プールの運用についての報告、また意見の聴取、それから、最後の3月は通学バスの運行ルートについて、恐らく大分固まってきたと思いますので、通学、それから、バスの運行について、お話をしていきたいというふうに思っています。ただあくまでも現段階でのスケジュールとなりますので、変更になる場合があることを御了承ください。

(委員)

式典、それから学校経営運営に関わることになると思うんですが、引っ越しについての見通しをどういう段階でやるかっていうのが、学校としては知りたいです。令和6年の秋ぐらいから7年の教育計画を立てていきます。それに当たって、ある程度、引っ越しは、この週でやるのか、3月の第3週であるとか第4週でやるっていうのは、業者が行う引っ越し、もしくは職員がやる引っ越しっていう見通しを教えていただけると、それを生かした、教育計画が立てやすいなと思っております。

(事務局)

引っ越しについては、ながふじ学府小中一体校のときと同じようなスケジュールになってくると思います。卒業式とか終業式が終わって、そこから運べるものを運んでいったというのが現状です。豊田中学校は同じ敷地内なので、中学生が机を運んで、業者が入るのはその後というような感じでやっていたので、基本的には、春休みに入って一気に動くという形になると思います。

(委員長)

私のほうから地区長さんに、通学路に関わることで、単位自治会に、交通安全とかね、道路標識とかの要望について、大体、年度の初めの5月ぐらいまでに出せというのが多い。特に通学路が変わったりするような所は、そういう自治会と、学校とかPTAですとかが歩調があってないといけない。漏れのないように、出すべき要望はしっかり出すようにぜひ御指導頂きたい。二つ目は、役職、立場でなっている方が変わるとき、ぜひ引継ぎをよろしくお願ひしたい。なかなか1回2回聞いて、すぐツーカーというわけにはいかないと思いますが、できる限りよろしくお願ひします。あと、閉校行事のことについて、実は向笠は、向笠小が閉校に当たって検討会をもう以前から開いていて、6年度からは、実行委員会をつくって、自治会長も含めてね、閉校式典をどうやるか、やらないかとか、あとそのための記念誌のようなもの作ろうかっていうような案が出てまして、正式決定じゃないですが、また最後の1年、これでもう小学校がこの1年で消えてなくなることを何かこう、地域とか学校が一つになるような、地域と学校がリンクして、何かこう関連づけた行

事なんかもして行けるといいなという検討を今してきています。それをいよいよ実行に移したいなど。令和6年、組織を立ち上げて検討をする。ぜひ、大藤も、岩田も小学校がなくなるということについての、何か、仕掛けをお考えがあるようでしたら、そっちのほうも、考える時期になってるんじゃないかなと。ちょっと伝えておこうと思ひまして言わせていただきました。

(委員)

一つ、教育長に聞いてもらいたいんですが。各学校が閉校記念式典というのをやると思うんです。それっていうのは、一応、修了式、卒業式が終わってから、離任式の間ぐらいを一応予定してるんです。学校の行事としての閉校の式典をやる日があって、そのあとに引き続き式典やれたら1番いいかなと思ってます。なので、その三校をどんな配分とか日程でやるのか。それはまだこれから令和6年度の3地区長のブロック会議で話し合いをして、お願いするようになります。やはり卒業式から、離任式までの間、最悪離任式の次の日かもしれないですが。その辺について、教育長の胸の内に入れていただければ、またお願いに参りたいと思います。

(教育長)

分かりました。多分、市長とかも、もしかしたらというところもあると思います。承知しました。ありがとうございます。

(委員長)

三つの小学校が閉校ということになりますので、この会とはまた別のところで、そっちの方もそろそろ具体化に入ろうかなということになってますので、また、よろしくお願ひしたいと思います。他に事務局説明で何かお聞きしたいこととかありましたら出していただきたいなと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員)

1つだけ報告ですが、制服についてですけど、小中学校ではもう、PTAのほうとか、学校運営協議会委員とかに伝えて、ホームページにも各小学校にアップしてますけど、令和8年をめどに、制服のほう、磐田市全体というか、磐田市で希望を募りながら、新しい制服のことを考えていくという予定であります。向陽中もそこに入っていくっていうような形では中学校のほうでは報告しています。

(委員長)

本日の議事は以上です。皆さん御協力ありがとうございます。それでは、事務局にお返しします。

### 3 連絡事項

(事務局)

来年度の教育委員会の組織について、現在の教育総務課が教育総務課と学校づくり整備課という二つの課に組織が再編されます。それに伴ひまして、現在の学府一体校推進室

は、学校づくり整備課の学府一体校グループという形で事務を引き継ぐこととなりました。学校づくり整備課にはもう一つ学校施設グループを新設というか、教育総務課の施設管理グループを移行した形で、学校づくり整備課は2グループで運営してまいります。

次回開催日時について、今回は5月を予定していますが、場所も含めて決定次第、開催通知を送付したいと思います。

役職交代による委員の交代について、委員の交代を予定している団体で報告用紙をまだ提出していない方は、3月27日までに事務局まで提出をしてください。間に合わない場合は、御一報願います。委員を交代する際には、引き続きスムーズな話し合いができるように、後任の方に、これまでの話し合いの経緯を確実にお伝えください。

通学路、バスの乗降場に関する資料の提出については、向陽地区3地区の地区長の皆さんにお願いをしています。大藤、向笠地区長には、通学路における児童生徒の見守りボランティアの方たちに、通学路の危険箇所等の情報を頂きたい、情報提供をお願いしています。情報が集まり次第、提出をしてください。また、岩田地区長には、バスの乗降場について、地域の皆様の意見をまとめていただくようお願いをしています。5月末日までに頂ければと思います。よろしく申し上げます。